

えちごやま

◆まちづくりニュース



No.09

住みやすいまちづくりの
目標とイメージを紹介します。

魅力的で住みやすいまちづくりをめざして

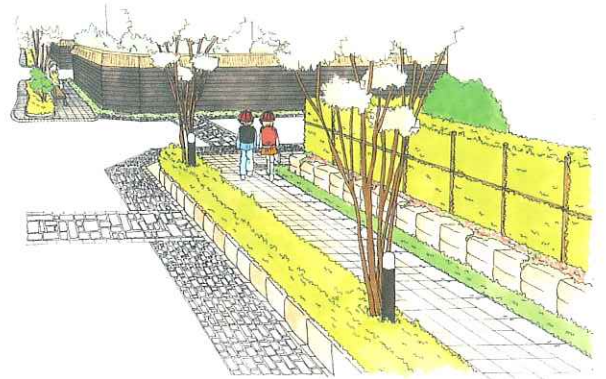
●越後山地区のまちづくりは、土地区画整理事業による道路や公園等の整備にとどまらず、魅力的で住みやすいまちづくりを目指して次のような目標を掲げて進めています。組合では、現在、まちづくりの目標を実現するため、事業計画に基づいて道路や公園等の計画や設計を検討しています。今回紹介する案は、組合に設置したえちごやまプロジェクト及び

越後山街づくり委員会で協議された案に基づいて、組合理事会及び総代会で基本的な方向が了解されたものを紹介しています。今後、関係機関と協議調整し、来年度(平成20年度)以降の工事に反映していきます。

●魅力的で住みやすいまちづくりをめざして、皆さんの一層のご協力をお願いいたします。

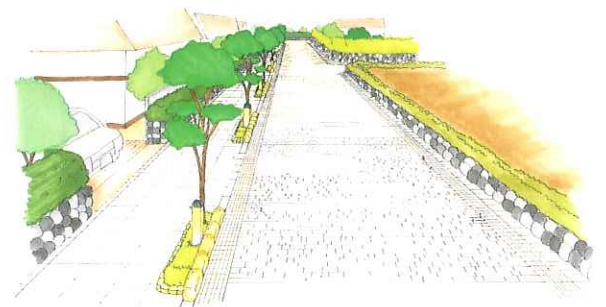
安全・安心なまちづくり

●歩行者を大切にした道路整備、災害時の対策や防災対策を兼ねた公園、調整池の整備、高齢者や障害者等にも配慮した道路や公園の整備等により誰もが安全にそして安心して越後山で暮らせるようなまちづくりをめざします。



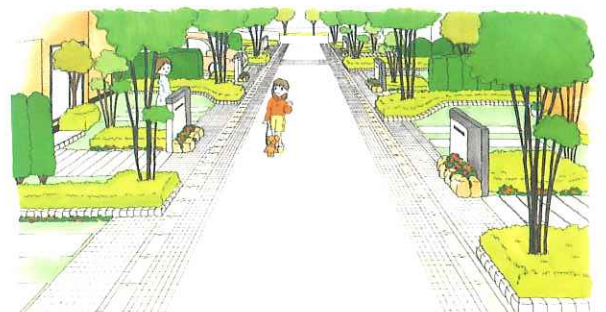
グレードの高い公共施設の整備

●道路、公園、ポケットパーク等グレードの高い公共施設の整備や、緑化の推進等により快適な環境づくりをめざします。



魅力的な景観形成

●丘陵地形を活かし魅力的な公共施設の整備と一体となった「緑の森に囲まれた景観形成」をめざします。



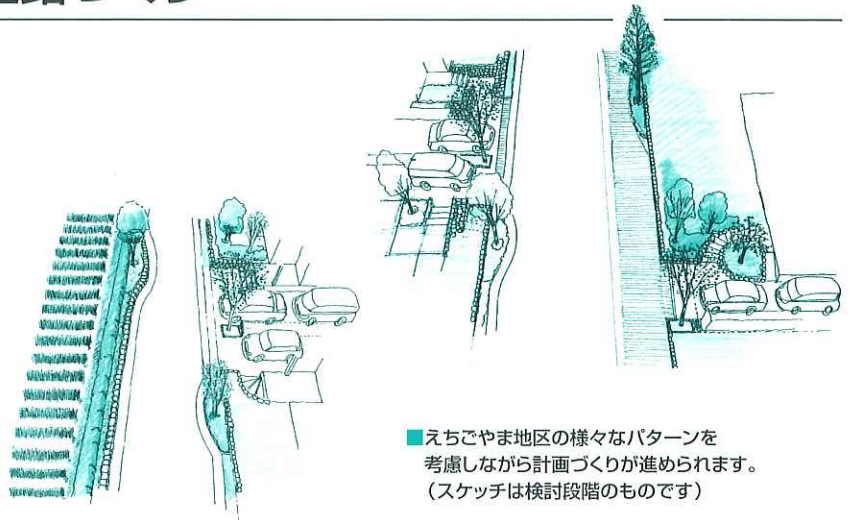
地域コミュニティの形成

●公園等をふれあいの拠点として整備し、あわせて地域住民によるまちづくり活動を活性化することにより、持続可能なまちづくりをめざします。

〈イラストはイメージ図です〉

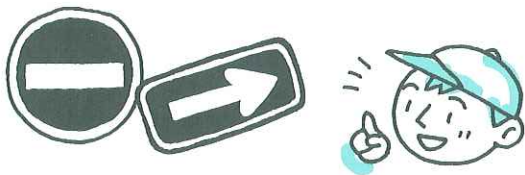
●安心して安全に歩ける道路づくり

●平成18年に組合で行った第1回土地利用意向調査では、地権者の皆さんから「歩いて楽しい街」「緑の多い街」「閑静で落ち着いた住宅地」という希望が示されました(まちづくりニュースNo.02参照)。このような皆さんの意向に基づいて組合では、『安心して安全に歩ける、歩いて楽しい緑の多い道路づくり』を実現するために計画づくりを進めています。



■えちごやま地区の様々なパターンを考慮しながら計画づくりが進められます。(スケッチは検討段階のもです)

1 交通規制により安全な道路環境を実現します



●双方向通行の道路と一方通行の道路を組み合わせることを検討しており、地区内の住宅地への通過交通の流入を抑制します。

2 歩行者が安全に歩くことができるような道路づくり

●地区内の主要な道路には、6mの車道に加えて2mの歩道を設置します。歩道には、街路樹の植栽、カラー舗装等により歩いて楽しい緑の多い道路環境を検討します。また、歩道が設置されない住宅地内の道路は、歩行者優先の道路とし

て整備します。車両の減速を誘導する道路づくり、歩行者が楽しく安心して歩けるような道路づくりを検討しています。



3 快適に歩ける景観づくり

●歩いて楽しい道路環境を実現するため、車道や歩道のカラー舗装等によりわかり易く快適な路面づくり、電線類の地下埋設によりスッキリした道路景観づくり、街路樹等の植栽による緑豊かな緑化景観づくり、段差のない道路によるバリアフリーの実現等を検討しています。



組合からの
お願い

届け出!

❗ 建築物の建築や増築、土地や建物の権利変動については組合にお知らせ下さい。

越後山地区内は、土地区画整理法第76条で、土地の形質の変更、建築物の建築や増築、工作物の設置等にあたってはあらかじめ県知事の許可が必要で、組合に届け出なければなりません。また、相続や土地建物等の売買等で権利に変動が生じた場合は組合にお知らせ下さい。